

1868  2018

肥前さが 幕末維新博覧会

佐賀さいこう博
150th ANNIVERSARY

2018 3.17 - 2019 1.14

大隈重信記念館企画展

幕末維新期の 大隈重信

ばくまついしんき  おおくましげのぶ

佐賀から長崎、そして明治政府へ



吾輩が居つた当時の長崎は、
長崎全盛期とも云ふべき時で、
京都に次いで全国の有志家の
集合地であつた。

「備け備け飽途備け」より抜粋



平成30年 **2/11** (日) ▶ **3/21** (水・祝)

9:00~17:00 (入館は16:30まで) ※期間中無休

〔和服帯刀姿の大隈〕 当館蔵 / 〔肥前長崎図〕享和2(1802)年 長崎歴史文化博物館蔵

 大隈重信記念館

入館料 ● 大 人 : 300円 (20人以上の団体は200円)
小・中学生 : 150円 (20人以上の団体は100円)

主催 ● 佐賀市、佐賀市大隈重信記念館 協力 ● 早稲田大学図書館、早稲田大学大学史資料センター、公益財団法人鍋島報効会、長崎歴史文化博物館、佐賀県立図書館、佐賀県立致遠館高等学校

大隈重信記念館企画展
幕末維新期
 ばくまついしんきのおおくまじげの館
大隈重信
 佐賀から長崎、そして明治政府へ

平成30年
2/11 (日) ▶ 3/21 (水・祝)



「開明貴族表」進齋画 当館蔵

幕末維新期—大隈は佐賀・長崎から何を見たのか

2018年は、日本が近代国家への道を歩み始める契機となった明治維新から、150年の節目の年にあたります。

大隈重信は明治期に鉄道敷設や、円の制定をはじめ近代日本における黎明期に数え切れないほどの功績を後世に遺した人物です。その功績は、大隈自身の負けず嫌いな性格と、言葉だけではなく“とにかく行動する”という熱意を持って活動した結果といえます。この行動力から、現代に生きる私たちは多くのことを学べるのではないのでしょうか。

本展では、大隈が生まれ育った佐賀から、最初に赴任した長崎、そして明治維新につながる大隈の足跡をご紹介します。

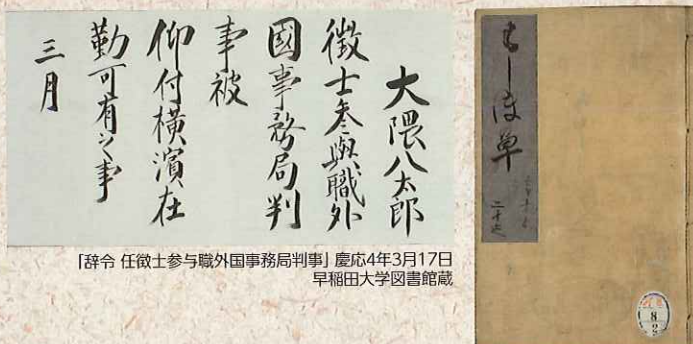


「東京夕留鉄道館蒸気車待合之図」歌川広重(三代)画 明治6年3月 早稲田大学図書館蔵

企画展ギャラリートーク

下記日程において、当館館長と学芸員による企画展を解説するギャラリートークを開催します。お気軽にご参加ください。

日時：平成30年2月24日(土)、3月17日(土) 13:30~14:00
 料金：通常の入館料のみ



「辞令 任徴士参与職外国事務局判事」慶応4年3月17日 早稲田大学図書館蔵

「横浜新報もしは草」慶応4年 ヴァン・リード著 早稲田大学図書館蔵

大隈重信旧宅(生家)特別公開

昨年、改修工事を終えたばかりの大隈重信旧宅(生家)において、ボランティアグループ、大隈侯を学ぶ「まきの会」による案内が行われます。また、大隈重信が幼少時代に勉強していた旧宅2階の部屋も特別に公開します。



日時：平成30年2月11日(日)から3月31日(土)の土日祝のみ
 10:00~16:00

料金：通常の入館料のみ

●肥前さが幕末維新博覧会

1868 SAGA 2018
 肥前さが幕末維新博覧会

3月17日から開催される「肥前さが幕末維新博覧会」の入場券の半券提示で入場料の割引が受けられます。(※高校生以下は入館無料)

●チケットに関するお問合せは、チケット管理センターまで
 (☎0952-29-3671)

大隈重信記念館

〒840-0054 佐賀市水ヶ江二丁目11番11号
 TEL 0952-23-2891

<http://www.okuma-museum.jp>

「大隈重信記念館」で検索!



↑HPはこちらから



【交通アクセス】

- 佐賀駅バスセンターより[20][21][23]「大隈重信記念館入口」バス停下車、徒歩5分
- 長崎自動車道佐賀大和ICから車で20分
- 佐賀城本丸歴史館から徒歩10分 / 佐賀市歴史民俗館から徒歩20分
- P 50台程度(大型バスも数台可能)